

強いのす青空

「福井の女性キャリアアップ相談記」

松岡 幸代

10

センターの本棚には、頑張る女性を応援する本が多数並んでいる。その数は約百冊。▽将来自分がどうありたいかを考えたり、どう行動するべきかを教えてくれる「キャリアアップ」▽仕事を愛えたり始めたりするときの心構えや採用に向けたノウハウを集めた「再就職・転職」▽自分の夢をかなえるためのお手本にした「起業▽仕事と家庭、プライベートを充実させるためのコツを学ぶ「両立支援」の四つのジャンルに分類し、目的に合った本がすぐ手に取れるようにしている。

本棚の前には、ハイハイして回る子どものかたわらで「自宅ではとても読む時間がないから」と、仕事と育児の両立についての本をむきほるように読む新米お母さんや、「明日受ける再就職の面接の準備に」と、バタバタと訪れ風のように去っていく主婦……。さまざま環境の中でももう一歩を踏みだそうとする多くの女性たちが訪れ、本を手に入れている。

Wさんは、何度か本を借

今のままでいいの？

りたことのある常連さん。仕事がお休みと思われる土曜日にひょっこり現れる。「どれを読めばいいのかわからない。同じ思いの女性たちが手にしていると心強いし、私も負けちゃいけない」。そんなことを言ってくれるなんて、ちょっとビックリ、でもうれしい。

いつも「キャリアアップ」の本を数冊借りていくWさん。そのたびに私は、前向きに頑張っているWさんを心の中で応援していた。そんな「キャリアアップ」本の常連であるWさんは、今日も本を選んでいった。

「え、転職？」。カウンターに持ってきたのは、キャリアアップの本ではな

本を参考に方向性探る

く、転職に関する本だった。Wさん、職場で何かあったのだろうか？ そういえば、心なしかいつもより元気がない気もする。

私は、思い切ってWさんに聞いてみた。「転職をお考えですか？」。Wさんは伏し目がちに、うーん、とうなつた後、「そう決めたわけではないんです。今の仕事に不満があるわけでもないし。ただ、ふとこのままでいいのか不安になってしまっ……」と話した。

仕事が忙しくて突っ走っているときは何も思わないのに、ようやく片付いて一息つくと、「不安」の二文字がちらついて頭から離れない。でも、この正体が何なのかも分からない……

「だから、まずはこの本で、転職のこと、メリット・デメリットを含めて勉強してみます」と話すWさんの言葉に、私はひとまず胸をなで下ろした。別に、転

職そのものが悪い訳ではない。でも、仕事に「嫌だから」「楽しくないから」と、何となく転職してしまうことは後悔する結果を招きかねない。それを避ける手助けだけは、したい。

「そう、不安になるときってありますよね。でも、そのとき安易に転職に走らずに、なぜ不安なのか、それは解決不可能なのか、を立ち止まってじっくり考えることが大切かもしれませんね」。こう返した私に、ほほ笑みながら深くうなずくWさんは、いつもの前向きなWさんに戻っていた。

こうやって、ふいにかかると、みんな懸命にもがいている。そんな女性たちにとって本は、ヒントや勇気、気持ちを整える機会を与えてくれる。世の中の流れやニーズに合わせた本を、今後もどんどん増やし充実させていきたい。

そしてまた、私もセンターも良き支えであり伴走者でありたいと願っている。

(福井新聞社提供)



イラスト・多田くにお